

会 議 録

平成26年3月31日調製

審議会等名	平成25年度 第4回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成26年3月17日（月） 午後2時～4時5分		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞社
出席者氏名	委員 阿部 涼子委員（議長） 阿久津 文雄委員（副議長） （11人） 村田 洋子委員 倉品 章委員 諸橋 信子委員 土屋 文舟委員 米山 文子委員 弥田 正蔵委員 石原 房子委員 石黒 正晴委員 佐藤 英夫委員 （欠席者） 小野島 臣儀委員 桑原 理委員 安藤 正之委員 高橋 清委員		
	職員 宗村市民部長 金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長 （11人） 高須図書館長兼歴史民俗産業資料館長 羽賀諸橋轍次記念館長 長橋嵐南公民館長 鈴木本成寺公民館長 渡邊大崎公民館長 高波栄公民館長 味田下田公民館長 野村生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐 小林生涯学習推進係長		
議 題	（1）平成25年度 生涯学習課等事業報告について		
	（2）平成26年度 生涯学習事業等計画（案）について		
	（3）委員の推薦について		
	（4）その他		
会議内容	別紙のとおり		

阿部議長	<p>これより平成25年度第4回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。本日の会議は、出席委員11名、欠席委員が4名であり、三条市社会教育委員会議運営規則第4条及び三条市公民館運営審議会規則第3条の規定により、委員の過半数を超えていますので、本日の会議は成立することを報告いたします。初めに市民部長より挨拶をお願いします。</p>
宗村市民部長	<p><部長挨拶></p>
阿部議長	<p>三条市社会教育委員会議運営規則及び三条市公民館運営審議会規則に基づき、私の方で議長を務めさせていただきます。それでは会議に入ります。</p> <p>「議題（1）平成25年度生涯学習課等事業報告について」事務局より全体の概要説明をお願いします。</p>
野村生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐	<p>全体の概要について説明させていただきます。</p> <p>「議題（1）平成25年度 生涯学習課等事業報告について」</p> <p>資料No.1 平成25年度生涯学習課事業報告について</p> <p>資料No.2 平成25年度公民館各種講座等の実施報告</p> <p>資料No.3 平成25年度図書館・歴史民俗産業資料館・諸橋轍次記念館実施報告について</p> <p>資料No.4 平成25年度子育て支援課・青少年育成センター実施報告</p> <p>内容については、公民館事業は2月10日現在、その他の事業は2月末日現在で、原則作成した内容となっております。資料No.2の「平成25年度公民館事業実施状況一覧表」は、終了していない事業の数値は記載されておりません。平成26年度第1回会議において、「平成25年度公民館事業実施報告一覧表」により提出させていただきたいと考えております。以上で、説明を終了いたします。</p>
阿部議長	<p>ありがとうございました。この資料については、事前に皆さんに送付されました。簡単な説明でございましたが、事前によく精査していただいたと思います。ご質問、ご意見がありましたらお願いします。</p>
佐藤委員	<p>資料No.1のP2、子ども読書活動推進事業で、家庭、地域、学校、図書館が連携しながら子どもの読書活動を推進するということですが、具体的にどのような連携を取りながら推進され、どのような効果があったのかお伺いしたい。</p>
金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長	<p>子ども読書推進計画の第2次計画があり、それに基づいて事業を展開しておりますが、ひとつはブックスタートといって、赤ちゃんの10ヶ月検診に来られるお母さんお父さんに、絵本を差し上げています。絵本をお渡しするだけではなく、このように赤ちゃんに読んでいただきたいという実演をし、家庭に帰って、読書をする習慣を小さい頃から身につけてもらう読み聞かせの効用を学習してもらいたいということで、家庭と行政、図書館とで連携をとってやって</p>

	<p>おります。また、学校との連携として、ブックトークとありますが、学校へ図書館の職員が出向き、本の内容のお薦めとか、100冊パックにして貸し出すというようなことや、学校側からで、調べ学習と言いますが、図書館の本を使って、それぞれの宿題とか課題を自分で解決するというような学習活動をしてもらっております。図書館見学や図書館職員の体験をしてもらうなど、図書館との連携を展開しております。</p>
阿部議長	<p>委員さんの方からあまりご意見がないようですので、それぞれの施設で、公民館、図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館、特に25年度の事業について、特徴的なものあるいは素晴らしかったもの、成果の上がったもの等ありましたらアピールしていただけたらと思います。</p>
金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長	<p>生涯学習の関係で、今年度、特徴的な事業を少し説明させていただきます。 <主に次の事業について説明> 青少年文化振興事業「わくわく文化未来塾」、岩田正巳生誕120周年記念「ふるさとの新春を飾る岩田正巳展」、美術館めぐり、若手芸術家支援事業「中村暢子 書展～高みへ……新たな挑戦」、八十里企画展。</p> <p>中央公民館の関係では、 <主に次の事業について説明> まちなか文化祭</p> <p>議長さんの隣に表彰状がありますが、こういった取組が評価され、全国の優良公民館の表彰に結びついたということでございました。</p>
阿部議長	<p>ありがとうございました。今、ご説明のありました「まちなか文化祭」は、昨年度から始まり、文教エリアにおける事業ということで、優良公民館の表彰の対象になったということでございます。文部科学大臣から金子館長さんがこちらの楯と一緒にいただいて来られました。大変おめでとございました。私達もやりがいがあります。「まちなか文化祭」は、確かに去年よりは今年の方がもっともっと市民に浸透されと思いますし、入場者数が増えているいろんなイベント的なものもたくさんあって楽しかったと思います。</p> <p>倉品先生が図書館の方でご協力していらっしゃいますが、私達公民館運営審議会としても何かお手伝いできれば、もっともっと盛り上がってくるのだらうと思いますし、お祭りなんだから、4か所にのぼりみたいなものを立てて、お祭りだという感じのものがあれば、うっかりしてきた人も何をやっているのだらうというように、寄ってくれるのではないかと感じました。</p> <p>また、出られる人はお手伝いでもさせていただければ楽しいなあと考えております。</p>

羽賀諸橋轍次記念館長	<p>資料No.3のP11、諸橋轍次博士生誕130周年ということで、今年度、いくつかの事業をさせていただきました。</p> <p><主に次の事業について説明></p> <p>一流講師陣による漢字漢文学講座、子ども論語塾 in 記念館、第5回諸橋轍次博士記念全国漢詩大会（特別ゲスト ドナルド・キーン氏）、諸橋轍次博士生誕130周年記念 集中講演会、八十里越展示事業</p>
阿部議長	<p>ありがとうございました。マイクロバスが有り、大変良かったです。割と高齢の方が多いため、車の免許のない人も多いと思いますし、テレビでも宣伝していただき大変良かったと思っております。大変盛況でよかったですと思います。130周年の記念文集が出るということですが、それはいつ出るのでしょうか。</p>
羽賀諸橋轍次記念館長	<p>実行委員会を作っており、佐藤海山氏が委員長、事務局は生涯学習課ということで進めています。原稿等はそろっておりますが、それについては大修館という会社から校正、編成、編集、印刷をお願いするという流れになっており、非常に3月が忙しく、6月くらいにしかできないと承っております。90人くらいの人から協賛金をいただいておりますので、その方には6月くらいになりますとご連絡しようと考えております。一流の出版社にお願いするので、かなり体裁が良くなると期待しております。</p>
阿部議長	<p>よろしく願いいたします。他に、皆さんの方からご質問ございませんでしょうか。しばらくして無いようですので次の議題に入ります。</p> <p>「議題（2）平成26年度 生涯学習課等事業計画（案）について」事務局より全体の概要をお願いします。</p> <p>初めに、生涯学習課と公民館の説明を受けた後に質疑応答をし、次に図書館及び歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の説明を受けた後に質疑応答に入りたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長	<p><資料No.5により、主に次の内容について説明></p> <p>生涯学習課 重点目標（1）④、重点目標（2）⑥</p> <p>生涯学習課 事業計画では、第2次生涯学習推進計画、生涯学習指導者養成講座、若手芸術家支援事業、しかけ絵本日本一プロジェクト事業（実行委員会を立ち上げたい）文化・芸術の一番星育成支援事業、小林ハルさん越後瞽女唄講演会・パネル展、ふるさと三条再発見事業。</p>
野村生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐	<p><資料No.6により、主に次の内容について説明></p> <p>公民館運営計画 営重点目標（5）成人及び団塊世代の事業の充実</p> <p><中央公民館、主に次の内容について説明></p> <p>生涯学習指導者養成講座、入門教室、文化入門講座</p>

	<p><嵐南公民館、主に次の内容について説明> くらしを楽しむ女性講座</p> <p><三条東公民館、主に次の内容について説明> 市民総合大学</p> <p><井栗公民館、主に次の内容について説明> なるほど座</p> <p><本成寺公民館、主に次の内容について説明> お寺の会</p> <p><大崎公民館、主に次の内容について説明> 男の料理教室</p> <p><大島公民館、主に次の内容について説明> 大島地区スポーツカーニバル</p> <p><栄公民館、主に次の内容について説明> おとなの学び家、ふるさと歴史探訪</p> <p><下田公民館、主に次の内容について説明> ものづくり講座</p>
<p>米山委員</p>	<p>公民館の生涯学習指導者養成講座について、具体的にどのような方向であるのでしょうか。現在の計画を教えてください。</p>
<p>金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長</p>	<p>具体的な内容は現在計画中ですが、例えば、会議の持ち方の技術、発表の仕方の技術など。また、三条市全体でどのような団体があって、どのような交流があるのかというようなことを学ぶなど、生涯学習指導者としてどのような技術が身につけられるのか計画している最中でございます。まだ確定していないので、内容についてご意見があれば、聞かせていただきたいと思います。</p>
<p>米山委員</p>	<p>例えばファシリテーションというようなものでしょうか。</p>
<p>金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長</p>	<p>はい、そうです。</p>
<p>村田委員</p>	<p>公民館事業のところに重点目標・重点事業という項目があって、そこに二重丸が付いている重点事業がありますが、新規だから付いているわけではないようですが、重点事業の根拠というものがあれば聞かせていただきたい。</p>
<p>金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長</p>	<p>新しく試みるもので、重点目標に合わせている事業や、ぜひ今年、力を入れたいというような事業を二重丸ということにしております。ある程度ずっとやっていて、力を入れなくても人が大体集まるというような事業については外しています。</p>

<p>倉品委員</p>	<p>公民館の関係、重点目標（５）のサークル管理について、移行期間があつて様々な議論が尽くされたと思うのですが、知っている人は知っているけれども、知らない人は知らないというようなことがあるのではないかと感じています。具体的には、新年度からはサークル化した団体は全て、そこが募集をしていくということで、公民館の方はノータッチだということでしょうか。その辺のことが私達も含めて市民の方もわからないのではないかと思います。周知徹底の方法等について教えていただきたい。</p>
<p>金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長</p>	<p>サークルについては、発端として、例えば10年・・・など、長く同じ講座・教室をやってきており、そして同じ講師や受講者が10年ぐらいつとやってきているなど、長期的にやってきた講座については、なかなか新しい人が入らないものですから、その講座形態はまさにサークルというのがふさわしいということで、長くやってもらった講座についてはサークルにしてもらいたいということで、5年前に公民館運営審議会の中でお話があり、論議いただきました。各公民館、長くやっていただいた教養講座についてはサークル化しましょうというので、初めは3年間かけて移行期間を設けたのですが、3年では短いということで最長5年間ということで、平成20年にそのお話が出てからこの平成25年度が最後の年になっております。5年間かけて今の講座の人達にお話し申し上げてきたので、講座の人達がわからないということはないと思います。なので、今年度で全てサークルになりますが、これから何かしたいという市民の方については、確かに、何故、急にサークル化になったのかというのはあるかもしれませんが、それについて、広報さんじょう3月1日号でサークルの種類はお知らせし、お茶とか踊りなどやりたい場合は、このようなサークルがありますよという広報はさせてもらいました。そして、急に公民館はもう知らないよというのではなく、1年間は会場確保や使用料も1年間無料にすることで支援いたします。2年目からは通常のサークルのとおり有料でお願いすることになっております。</p>
<p>倉品委員</p>	<p>わかりました。3月1日号を見ればはっきりするということですね。</p>
<p>金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長</p>	<p>そうです。もう広報されております。</p>
<p>倉品委員</p>	<p>私達、リタイアした者にとっては結構時間があるので、色々興味を引くサークルがあり、これをやってみたいなという声仲間からあるのですけれど、例えばお茶をやってみようかなというような人は、サークルはちょっと敷居が高いというか、いきなりサークルでできるのかなというような不安があるようです。初心者という人もいるわけです。すこし、入門教室と文化入門講座が少な</p>

金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長	<p>いという感覚を持ちました。もう少し、受け皿を初心者向けにたくさん用意されると、まずはそこから入ってみようかなという考えになり、次にサークルの方にもと思うのですが、その辺はいかがなものでしょうか。</p> <p>今、サークルになったのが、各公民館主催の講座で、全部で100いくつあったと思います。実は県内で一番多かった。他市を見ると、長岡市は3講座とかで、中央公民館でもそれぐらいしかない。高齢者教室の中でお茶をやってはいるのですが、三条市の場合は、特徴といえば特徴だったのですが、公民館活動として文化教養というのはあまりにも大きくなりすぎていた。いったん、サークル化したものについては、翌年は同じ講座を基本的にはやらないというように考えており、講座がそのままサークルになると、例えば水曜日の夜7時は、講座は終わっても移行したサークルが使うので、ハード面でも、新しい講座が入りようがない状態が今あります。10講座考えたのですが、講師の都合で今回は8講座となっております。来年度はサークルと私達の新しい8講座をスタートさせてもらって、しばらく様子を見させてもらいたいという段階ですのでよろしくお願ひしたいと思います。</p>
倉品委員	はい、わかりました。
阿部議長	<p>市民の多くの意見で、今、倉品委員の意見のようなこともあると思います。確かに同じ先生、同じ生徒が20年以上も在籍し、そのうちに、例えば日本画の教室は2つも3つもできています。そういったことになったことが狙いだったわけですが、例えば全市の公民館の中で、日本画の入門は一つ、洋画の入門は一つ、俳句も入門が一つなど、公民館でおやりになる時、やはり入門講座を土台にさせていただくと、本当にサークルに入りにくいんですね。ですから、新しい人や若い人の文化の育成を考えますと、公民館として、いろんな面の入門講座は継続していただきたいと思います。</p> <p>また、平成25年度からいろんな教養講座を締め切り、それぞれの講座が、長いものについてはサークルに残っていただくか解散していただくかと私お聞きしていたのですが、例えば6ページの上林分館におきましては、これはずっと前から繋がっている公民館教室です。講師が変わられたのか形態が変わられたのか、これだけどうして残されたのでしょうか。不公正がありますよね。これは認められないのではないのでしょうか。サークルになっていただきたいと思います。</p>
金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長	上林分館についてはサークルでやっていたのですが、主催になったのが3年前だったと思います。
阿部議長	それは、嵐南の私の日本画教室もそうです。でも一斉にやめるということに

金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長	<p>なりました。</p> <p>私が記憶しているのは、2年前か3年前に、活動はずっとされていましたが、ここに標記した、計画表に出して主催としたのは2年前か3年前だったものですから、継続されていたのだと思っていたのですが、それでこれについても足並みがそろわないということですので、分館長さんと検討させてもらう予定ではいきました。しかし、今回はこれでさせてもらうということで、翌年度で検討させてもらいたいと思っております。</p>
阿部議長	<p>ぜひ、足並みをそろえていただきたいと思います。皆さんの方でも意見がありましたらお願いします。では、生涯学習課、公民館について質疑が無いようでしたら、次に図書館、歴史民俗産業資料館、それから諸橋轍次記念館の平成26年度の説明を受けたいと思います。</p>
高須図書館長兼歴 史民俗産業資料館 長	<p>図書館の来年度の計画の説明をしたいと思います。図書館の来年度は、やはり継続と深化ということで、生涯学習課のご指導のもと、継続と深化に努めさせていただきますということでございます。</p> <p><資料No.7 図書館、主に次の内容について説明> ブックスタート事業、学校等における読書活動支援の強化</p> <p><資料No.7 歴史民俗産業資料館、主に次の内容について説明> 広川操一展、石川雲蝶と三条のものづくり展、昔のくらし展</p>
阿部議長	<p>続きまして、諸橋轍次記念館お願いします。</p>
羽賀諸橋轍次記念 館長	<p><資料No.7 諸橋轍次記念館、主に次の内容について説明> 博士の日特別講演会、夏休み子ども教室 in 記念館、講演会：字～字～字、講演会：あなたも美文字家</p>
阿部議長	<p>ご質問やご意見がありましたらお願いします。</p> <p>先ほど生涯学習課長さんから「しかけ絵本日本一プロジェクト事業」の説明をいただきましたが、図書館は全然関わりがないということでしょうか。</p>
高須図書館長兼歴 史民俗産業資料館 長	<p>先ほど生涯学習課長から説明があったように、プロジェクトを立ち上げてということになりますので、プロジェクトメンバーに図書館員が参画して、一緒に事業の充実した実現に取り組ませていただきたいと考えております。図書館が主体になってということではありません。</p>
阿部議長	<p>すまいるランドに隣接する図書館栄分館の利用は、生涯学習の分野でなく、栄分館自体も生涯学習課の図書館の分館でなく、すまいるランドの分館なので、P3と図書館の事業計画と両方見ているのですが、最近、三条市の基本体系</p>

<p>金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長</p>	<p>が分からないのです。 これは図書館の分館かと思って聞いていたのですが。図書館栄分館の利用促進を図るため、P3のしかけ絵本とありますが・・・。</p> <p>そのとおりで、図書館栄分館は、図書館の栄にある分館ですので、生涯学習施設であります。すまいるランドの同じフロアにあるものですから、栄分館においては子どもに比重を置いた蔵書構成をやっているのですが、子ども達の利用しやすいような蔵書構成になっていたのですが、更に、その魅力を発揮できるよう、子どもが面白いしかけ絵本を、いっぱい揃えようということになりました。図書館が主体となってやるのですが、行政がやるということではなくて、行政が支援しながらやるのですが、市民の方が、実行委員会が主体になって色々しかけ絵本を集める寄付をいただいて、その寄付に基づいて買うということのプロジェクトです。改修は、本棚を変えたり、絨毯のコーナーを改修したりというのはうちでやりますが、本を一千冊集めるというのは、市民の実行委員会からしてもらって、インターネットでクラウドファンディングという「こういうことをやるので寄付をしてください」と呼び掛けるのも実行委員会にさせていただきます。</p>
<p>阿部議長</p>	<p>そういうプロジェクトを作ると。市の予算の方から買わないのですか。全部寄付で成り立つのですか。</p>
<p>金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長</p>	<p>そうです。ハードは市がやって、絵本は寄付によって集めるというプロジェクトです。市で購入はしません。</p>
<p>阿部議長</p>	<p>それで日本一になるのですか。</p>
<p>金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長</p>	<p>市民の力によって日本一を目指す。一千冊買う。それは一冊一千円あるいは千五百円だと100万～150万を集めるプロジェクトをやるということです。</p>
<p>阿部議長</p>	<p>本を集めるということではなくて、お金を集めるプロジェクトということですね。</p>
<p>村田委員</p>	<p>そこへ図書館はどう関わるのでしょうか。</p>
<p>阿部議長</p>	<p>図書館を離れてプロジェクトだけで運営するのでしょうか？図書館長さんはプロジェクトに図書館員を出すと言われていましたが、図書館長さんはそのプロジェクトに入らないのですか。</p>

高須図書館長兼歴史民俗産業資料館長	プロジェクトもまだ、具体的な立ち上げ等のお話を頂戴していませんので、館の代表としての館長の参画が必要ということであれば、私ともう一人くらいスタッフで参画することになると思います。
阿部議長	そのプロジェクトが、ボランティア的な市民だけでやるというのは？
高須図書館長兼歴史民俗産業資料館長	しかけ絵本が収められるのは栄分館で、図書館の分館でございますので、しつらえ等、どういった絵本がふさわしいか等、プロジェクトに参画させていただいて、協力と言うとおこがましいですが、意見を述べさせていただいて、より適切なものになるように参画させていただきたいと思います。
金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長	これは議会でも説明させてもらったのですが、市役所に例月政策会議というものがあり、その会議の中で市の職員の発案によって出てきたものです。図書館の取り組みというよりも生涯学習を含めた市民の活動、運動として、しかけ絵本を集めて日本一プロジェクトという掛け声の下で、子育てしやすい環境、あるいは図書館の栄分館に特色のあるものを組み入れたいということです。
阿部議長	それは発想としてもいいと思いますが、三条には日本一の飛び出す絵本がいっぱいある、そういう美術館的な図書館が、日本中から注目されるような日本一のしかけ絵本のものが出来れば、それはもう他所からも見学者が来ますし、それぐらいの想像をしてさっきの話を聞いておりましたが、お金が市の方から無いのに、プロジェクトで集めなければだめだということでは、日本一にはならないと思います。
金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長	市が予算をつけてぱっと買うというようなことだと、盛り上がりは欠けてきます。市民の人達がそういう趣旨に賛同して盛り上げていただく中で、集めていただくということで、そのプロセスに一つの大きな意義があります。到達点もさることながら、その到達するまでの活動の広がりだとか深みによって、この意義があるのだろうということで、この企画がなされてきました。
阿部議長	発案したのは市の職員でしょう？市民の方からそういうものが欲しい、例えば図書館にいつも通っている親子が、そういうのもあるといいねということで提案されたものが市で取り上げられたら、それはみんなで盛り上がってやりませけれども、実際は違うのではないですか。例月政策会議が、本当にいいアイデアなのか悪いアイデアなのか、突飛なことを考えて、それがすぐ翌年に事業になるのです。いかにも市民から発案されたような形をとって、実は発想は市の職員がしたのだったら、もっと時間をかけて、本当にそういうものを望む市民がどのくらいいて、その人達が手を挙げてプロジェクトになってくれるのだったら、私はそれがプロジェクトだと思います。私は大きな市の夢があって、その一つだと思って、これを聞いたときは面白いことをするのだなと思ってい

<p>宗村市民部長</p>	<p>ましたが、本当にできるのか心配です。倉品先生は図書館の方、詳しいですが、いかがですか。社会教育委員としては、このような思いつきの事業が進められているように感じております。</p> <p>現実、栄のすまいるランドは子どもたちが親御さんと来て、何時間かあるいは1日遊んで行かれる場所です。そして、栄に図書館という子どもと親御さんが来られる環境がありますので、例月政策会議の中では、両方の来館者の方が多くなるような方向性で、すまいるランドの来客が増えるような提案と、栄分館の方が一緒に併せて来るような形の提案がありました。その中で、平成26年度の事業の中では、すまいるランドの方は表には出てきませんが、最後の最後に非常に議論になった事業です。それに比べて、この栄分館の「しかけ絵本日本一プロジェクト」については、確かに、市民の方々からの直接の要望ではありません。ただ、私達の政策会議で考えた趣旨として、せっかく子どもたちや大人がいらっしゃるので、しかけ絵本や子育ての本を充実させて、子どもや子育て世代に特化した図書館にしようというコンセプトです。</p> <p>それで、行政が全部お金を出してやるより、既に、しかけ絵本は三条の図書館にあり、一千冊は揃うかどうかわかりませんが、できれば市民の人達から手助けしていただき、探し出していただいたり、また他にも市販のこういったものがあるという場合は、皆さんで協力したりして、しかけ絵本を日本一にしていこうという、あくまでも理想であります。その中で、資金を集める方法として、インターネットの中でクラウドファインディングというものがありまして、このようなことについて事業の趣旨に協力してくださる方はぜひ募金をお願いしますというものがあります。それは三条でも現にあり、例えば、楽音祭は毎年30万円ほど集まっておりますし、その他行政とは関わりがないですが、民間の方々の団体の中でも色々例があります。また、クラウドファインディングの仕組みの他に、ネーミングライツということをしていただいて、例えば1人が1千円出します、2千円出します、3千円出します、と本のラベルのところに本名を書かなくても、例えば私なら、むねちゃんが「みんなで本を読もう！」という感じで入れるような形にしていくと、市民の皆さんが子育ての本、しかけ絵本に協力しようかなと思ってくださることで、そのプロジェクトに関心のある方から来ていただいて、一つのまちづくりを目指したいという私達の思いです。何冊集めたら日本一になるのかは実はわからないそうですが、少なくとも1千冊集めれば相当なボリュームになりますので、これは日本一と言ってしまった方が勝ちなのかなと思っております。そのような中で取り組もうと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>阿部議長</p>	<p>そのような図書館がないということであれば、何冊でも日本一になれます。今からでも日本一でしょうか。あまりに、社会教育委員の生涯学習の中で、事業としてそれほどタッチしなくていいように感じ取りましたがそれでよろしいですね。わからない世界の中にファンドを集めてやっていくということであ</p>

	<p>りますから。私も図書館にはずっと関わってきましたので分かりますが、本は大変痛みます、壊れます。子どもは喜んでひっぱります。ですから常に補充もしていかなければなりませんし、運営面はどのようになるのかわかりませんが、これをきっかけに子どもたちが本を読んでもらうという考えには賛同です。ただ、社会教育委員として、どの程度、新しい重点的な事業として入り込んでいくのか心配したわけですが、やってみて、長く続けられればありがたいと思います。</p>
倉品委員	<p>初めに方法ありきで、目標というか、目指すものが見えません。どういった子どもたちを育てたいとか、読書生活を市民の皆さんにどうあってほしいのかというビジョンがなかなか見えてこないものですから、インターネットとか具体的などころだけの手法だけが前面に出てきましたので、ちょっと分かりにくい感想を持ちました。</p>
米山委員	<p>同じような感想を持ちました。しかけ絵本がどこから出てきたのか正直分かりません。倉品委員がおっしゃたように疑問です。</p>
石黒委員	<p>情熱が伝わって来ないです。私共は社会教育委員ですから、ごくごく理解しやすい人達であると思います。ところが、そういう私達でも情熱が伝わってこない。思いはあったとしても、どういうプロセスですか。初めは看板を掲げて目標を持ってやっていく中で、例えば3年後とかいうような目標を持ちながらみんなにアピールしていく。ここだけでなく、教育関係の人、自治会、他のいろんな団体がありますけれども、そういう人をまとめていかないと、こういう大きな問題は難しい。ある程度お金がいるものですから、その仕掛けをきちんとしないとちょっとまずいのではないかと思います。時間をかけて説明をされていてはいかががでしょうか。この中で、今納得している人が何人いるか。多分いないと思います。</p>
宗村市民部長	<p>今、委員の皆さんのお話を聞いていて、なかなか難しいと思いました。どういった形で、皆さんを含め市民の皆さんにお伝えすれば良いのか。理念や思いを言った方が伝わりやすいのか、あるいは具体的な手法のところから話した方が分かりやすいのか。先ほどクラウドファンディングというような話をしましたが、具体的な話の方が、イメージがしやすいかと思いいかな話をしていただきました。一番最初、今日の質問の中で、子どもの読書活動推進事業について、地域、学校、図書館が連携して子どもの読書活動を推進するというのはどういう意味ですかと質問がありましたが、その理念は抽象的な話なので具体性がない。私達としては、できるだけイメージをしやすい形で、こういった人達を対象にして、こういった手法で、目標としては1千冊集めますというように話をさせていただきました。言葉だけなので、特にイメージがつかみにくいのかと思っております。このプロジェクトもそうですが、重点的に26年</p>

	<p>度取り組んでいくものについては、今回、分かり易い資料をつけて説明すればよかったと思いました。ですが思いは、生涯学習課も含めて私共、理事者も同じです。議会の方でも、非常にこれについては議論いただきました。これについては新年度もいろんな形を通じ、皆さん方に紹介をして参画していただき、取り組みの状況も逐次お知らせしていきたいと思っております。委員さん方からはどのような形で入っていただくのがよいかは今分かりませんが、子どもたちが最初に本を手取るにあたり、しかけ絵本は興味をそそるものになると思います。生涯学習課、図書館が、子どもたちにとって良い図書館環境を与えたいというのは最終の願いであります。次回からは重点的事業については皆さんに分かりやすいような形で説明させていただきたいと思っておりますのでご理解いただきたいと思っております。</p>
佐藤委員	<p>平成25年度の事業報告には青少年育成センターがありましたが、平成26年度の計画は載っていないのは、部署が変わることによってここに載っていないのでしょうか。</p>
金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長	<p>これについては、第1回社会教育委員会及び公民館運営審議会の時に提出させてもらっています。今回は報告のみです。</p>
阿部議長	<p>次に進みます。「議題（3）委員の推薦について」三条市青少年育成センター運営委員になっていますが、説明をお願いいたします。</p>
金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長	<p>三条市青少年育成センター運営委員でございますが、昨年第1回社会教育委員会及び公民館運営審議会の中で選出していただき、村田委員さんからお願いしておりました。今回、村田委員さんが青少年育成センターの相談員になられたことから、青少年育成センター相談員と運営委員と二つ兼ねることはできないということで、運営委員を辞職されますので、残任1年間をどなたかにお願いしたいということでございます。よろしくをお願いいたします</p>
阿部議長	<p>1年間、村田委員ありがとうございました。皆さんの中から、もう1年、どなたか立候補していただけるとありがたいです。年2回、会議があります。</p> <p><石黒委員に決定></p>
阿部議長	<p>石黒委員さん、お願いいたします。</p> <p>次に進みます。「議題（4）その他」、事務局から何かありますでしょうか。</p>
金子生涯学習課長兼中央公民館長兼	<p>特別ありません。</p>

東公民館長	
阿部議長	宗村市民部長、金子生涯学習課長が定年退職でございます。また本成寺公民館の鈴木館長も今年度でお辞めになるそうです。最後にご挨拶をお願いいたします。
宗村市民部長	<宗村市民部長 挨拶>
金子生涯学習課長 兼中央公民館長兼 東公民館長	<金子生涯学習課長兼中央公民館長兼東公民館長 挨拶>
鈴木本成寺公民館 長	<鈴木本成寺公民館長 挨拶>
阿部議長	本当に長い間ありがとうございました。本日用意された議題につきましては無事終了することができました。長時間ありがとうございました。それでは、最後に阿久津副議長より閉会の挨拶をお願いします。
阿久津副議長	<阿久津副議長 挨拶>